



片山	4 豊かな心を育てる教育の推進	友達や教職員、地域の人々との交流を通して、思いやりの心や、優しい態度が育っているか。 <b>目標値:教職員・保護者・地域住民の85%以上が肯定</b>	B	<p>◇ 前期と比較すると、全体的に評価が下がっている。保護者の評価はあまり変化していないが、地域住民の肯定評価が10.3ポイント減少し、分らない回答が増加している。前期と比べ、地域との交流を増やそうと試みたが、それらの交流が思いやりの心や優しい態度の育成につながっていない。また、家庭や地域での児童の様子と学校での児童の様子に差があることも要因の一つと考えられる。</p> <p>◆ ささまざまな行事を通して地域とのふれあいや、道徳科を核とした全ての教育活動において、思いやりの心や優しい態度の育成を図る。さらに、児童の様子をよく観察し、気になったことは教職員間で情報共有したり家庭と密に連携し対応していく。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q8)</td><td>0.0</td><td>100.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>20.0</td><td>80.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>保護者(Q3)</td><td>41.7</td><td>50.0</td><td>8.3</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>38.5</td><td>53.8</td><td>7.7</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>地域住民(Q2)</td><td>19.2</td><td>38.5</td><td>15.4</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>24.0</td><td>44.0</td><td>16.0</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:100% 保護者の肯定評価:91.7% 地域住民の肯定評価:57.7%</p>	教職員(Q8)	0.0	100.0	0.0	0.0	R4前期	20.0	80.0	0.0	0.0	保護者(Q3)	41.7	50.0	8.3	0.0	R4前期	38.5	53.8	7.7	0.0	地域住民(Q2)	19.2	38.5	15.4	0.0	R4前期	24.0	44.0	16.0	0.0
			教職員(Q8)	0.0	100.0	0.0	0.0																												
			R4前期	20.0	80.0	0.0	0.0																												
			保護者(Q3)	41.7	50.0	8.3	0.0																												
R4前期	38.5	53.8	7.7	0.0																															
地域住民(Q2)	19.2	38.5	15.4	0.0																															
R4前期	24.0	44.0	16.0	0.0																															
B	<p>◇ 前期に比べ肯定率は80%となり、評価もBに下がっている。コロナ禍でありながら、さまざまな工夫をして学校行事やボランティア活動を行ってきたが、交流の時期や持ち方については課題があったと考えられる。</p> <p>◆ 地域の自然や文化、海を題材とし、生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域との交流を深める。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q10)</td><td>60.0</td><td>20.0</td><td>20.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>33.3</td><td>66.7</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:80%</p>	教職員(Q10)	60.0	20.0	20.0	0.0	R4前期	33.3	66.7	0.0	0.0																							
教職員(Q10)	60.0	20.0	20.0	0.0																															
R4前期	33.3	66.7	0.0	0.0																															
A	<p>◇ 教職員の肯定率は100%となり、全教職員が一丸となって支持的風土づくりに努めたことがうかがえる。それに伴い、児童の肯定率も上昇している。しかし、不満を感じている児童も存在する。どの子も大切にされていると感じるような集団作りの手立てが不足していたとも考えられる。</p> <p>◆ 前期同様、集会や終わりの会等で、児童相互が友達の良さを伝え合ったり友達への感謝を伝えたりする場を設定し、学校全体の支持的風土を醸成する。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q9)</td><td>100.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>0.0</td><td>80.0</td><td>20.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>児童(Q11)</td><td>36.4</td><td>59.1</td><td>4.5</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>54.2</td><td>25.0</td><td>12.5</td><td>8.3</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:100% 児童の肯定評価:95.5%</p>	教職員(Q9)	100.0	0.0	0.0	0.0	R4前期	0.0	80.0	20.0	0.0	児童(Q11)	36.4	59.1	4.5	0.0	R4前期	54.2	25.0	12.5	8.3													
教職員(Q9)	100.0	0.0	0.0	0.0																															
R4前期	0.0	80.0	20.0	0.0																															
児童(Q11)	36.4	59.1	4.5	0.0																															
R4前期	54.2	25.0	12.5	8.3																															
A	<p>◇ 全員出席の日は2学期末現在で、109日(75.2%)であり、目標値の75%以上を達成した。給食を食べる量も増え、朝マラソンの再開やピンツと週間の実施なども児童の健康的な生活に大きく影響していると考えられる。しかし、昨年度の2学期末での全員出席の日は135日(90.26%)であり、昨年度よりも欠席日数が増加している。コロナウイルス感染症による欠席も大きな要因と考える。</p> <p>◆ 生活習慣チェックの結果やピンツとカードの結果を踏まえ、早寝早起きの習慣が定着していない児童が多い。睡眠の重要性に関する内容の啓発を行う。</p>	<table border="1"> <tr><td>R4後期</td><td>109.0</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>50.0</td><td>50.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>2学期末で109日(75.2%)達成 1学期末で50日(73.5%)達成</p>	R4後期	109.0				R4前期	50.0	50.0	0.0	0.0																							
R4後期	109.0																																		
R4前期	50.0	50.0	0.0	0.0																															
片山	5 健康教育の推進	朝マラソン、放課後の体育的活動を中心に、児童の体力増進と健康の保持増進に積極的に取り組めたか。 <b>目標値:教職員・児童・保護者の85%以上が肯定</b>	A	<p>◇ 前期と比較すると、全体的に肯定評価が増加していることが分かる。特に、児童の肯定評価は19.7ポイント増加しており、児童が自分の取組を肯定的に捉えていると考えられる。朝マラソンの様子からも1学期に比べ、「頑張ろう」と自分を鼓舞する様子が見られた。</p> <p>◆ 3学期に入り、ふれあいマラソンや校内持久走大会に向けた練習が始まるが、大会が終わった後にも賞賛する声掛けを続け、児童のやる気を継続させる。また体育科において、各学年に応じた運動量を確保することで、児童自身が体力の向上を感じる。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q16)</td><td>60.0</td><td>40.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>40.0</td><td>40.0</td><td>20.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>児童(Q16)</td><td>40.9</td><td>45.5</td><td>13.6</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>37.5</td><td>29.2</td><td>29.2</td><td>4.1</td></tr> <tr><td>保護者(Q10)</td><td>25.0</td><td>58.3</td><td>16.7</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>23.1</td><td>61.5</td><td>15.4</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:100% 児童の肯定評価:86.4% 保護者の肯定評価:83.3%</p>	教職員(Q16)	60.0	40.0	0.0	0.0	R4前期	40.0	40.0	20.0	0.0	児童(Q16)	40.9	45.5	13.6	0.0	R4前期	37.5	29.2	29.2	4.1	保護者(Q10)	25.0	58.3	16.7	0.0	R4前期	23.1	61.5	15.4	0.0
			教職員(Q16)	60.0	40.0	0.0	0.0																												
R4前期	40.0	40.0	20.0	0.0																															
児童(Q16)	40.9	45.5	13.6	0.0																															
R4前期	37.5	29.2	29.2	4.1																															
保護者(Q10)	25.0	58.3	16.7	0.0																															
R4前期	23.1	61.5	15.4	0.0																															
B	<p>◇ 児童、保護者ともに肯定評価が高い。目標値の85%には達していないが、子どもの食育教室やピンツと週間の実施により、保護者からの協力も得られ、高い肯定率につながったと考えられる。</p> <p>◆ 「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発を継続していく。早寝・早起きについてはゲームやSNSの利用によって、守れていない児童が多いため、保健だよりなどを通じ、工夫して家庭と連携していく。</p>	<table border="1"> <tr><td>児童(Q17)</td><td>50.0</td><td>31.8</td><td>18.2</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>50.0</td><td>33.3</td><td>16.7</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>保護者(Q8)</td><td>8.3</td><td>75.0</td><td>16.7</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>7.7</td><td>69.2</td><td>23.1</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>児童の肯定評価:81.8% 保護者の肯定評価:83.3%</p>	児童(Q17)	50.0	31.8	18.2	0.0	R4前期	50.0	33.3	16.7	0.0	保護者(Q8)	8.3	75.0	16.7	0.0	R4前期	7.7	69.2	23.1	0.0													
児童(Q17)	50.0	31.8	18.2	0.0																															
R4前期	50.0	33.3	16.7	0.0																															
保護者(Q8)	8.3	75.0	16.7	0.0																															
R4前期	7.7	69.2	23.1	0.0																															
芝	6 安全・安心な学校づくりの推進	防災に努め、定期的な点検を実施し、施設・設備の維持管理、安全確保に努めているか。 <b>目標値:教職員・保護者・地域住民の85%以上が肯定</b>	A	<p>◇ 教職員は4の評価が100%となったが、保護者の肯定的な意見は減少傾向にあり、2の評価も見られた。また、地域住民の評価もかなり下がっている。地域を巻き込んだ防災訓練ができなかったことも関連していると考えられる。</p> <p>◆ 今年度は、町総合防災訓練に参加したため、地域独自の防災訓練は行っていない。次年度は、地域の総合防災訓練として実施する。</p> <p>◆ 本校の立地条件を考慮し、津波や土砂災害災害の避難訓練、また予告なしの避難訓練など、より実効性の高い訓練を実施する。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q14)</td><td>100.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>60.0</td><td>40.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>保護者(Q12)</td><td>25.0</td><td>66.7</td><td>8.3</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>30.8</td><td>69.2</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>地域住民(Q7)</td><td>15.4</td><td>50.0</td><td>3.8</td><td>3.8</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>32.0</td><td>63.0</td><td>5.0</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:100% 児童の肯定評価:100% 保護者の肯定評価:91.7%</p>	教職員(Q14)	100.0	0.0	0.0	0.0	R4前期	60.0	40.0	0.0	0.0	保護者(Q12)	25.0	66.7	8.3	0.0	R4前期	30.8	69.2	0.0	0.0	地域住民(Q7)	15.4	50.0	3.8	3.8	R4前期	32.0	63.0	5.0	0.0
			教職員(Q14)	100.0	0.0	0.0	0.0																												
R4前期	60.0	40.0	0.0	0.0																															
保護者(Q12)	25.0	66.7	8.3	0.0																															
R4前期	30.8	69.2	0.0	0.0																															
地域住民(Q7)	15.4	50.0	3.8	3.8																															
R4前期	32.0	63.0	5.0	0.0																															
A	<p>◇ 教職員、児童とも肯定率が100%である。特に児童は、95.5%が4の評価である。子どもたち一人一人に防災意識が育っていることが分かる。</p> <p>◆ 今後も、避難訓練を工夫し、子どもたちの防災意識や防災スキルを高めていく。</p> <p>◆ 防災リュックの中身の定期的な点検を行う。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q17)</td><td>100.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>40.0</td><td>60.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>児童(Q13)</td><td>95.5</td><td>4.5</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R4前期</td><td>95.8</td><td>4.2</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:100% 児童の肯定評価:100%</p>	教職員(Q17)	100.0	0.0	0.0	0.0	R4前期	40.0	60.0	0.0	0.0	児童(Q13)	95.5	4.5	0.0	0.0	R4前期	95.8	4.2	0.0	0.0													
教職員(Q17)	100.0	0.0	0.0	0.0																															
R4前期	40.0	60.0	0.0	0.0																															
児童(Q13)	95.5	4.5	0.0	0.0																															
R4前期	95.8	4.2	0.0	0.0																															
協議会委員 学校運営	7 その他 学校運営協議会委員の所見	<p>[1 確かな学力の定着と向上に努める] ○先生方の負担は大きいと思うが、小規模校の良さを活かして、個人に応じたきめ細かな指導を、さらに充実させてほしい。しかしながら、唯一の〇評価である「家庭学習の習慣」向上の対応策である。宿題への取組方法などを学校へ一斉に伝えることは、異なる先生方の負担増につながるから、可能な限り家庭(保護者)の協力を得て行う必要があると考える。○保護者の認識が上がったことは良いことだと感じる。○小学校で宿題指導をするのは、良いことだと感じる。○子どもが宿題をやり終った後に、先生方が苦しい学業を成果にされていることがよく分かる。○小学校校務の勉強は、今まで以上に、そのうちできるようになると思う。家庭学習は自由。子どもは学校以外では子どもらしさを出した方がいいと思う。○家で家庭学習がしっかりとできており、向上してよかった。○学校で一斉に宿題をするという案は、良いと思う。どれくらいの時間、どの勉強をするかというところが、クロームブックを使っている勉強は、子どももやる気を出しやすく、何より、雪で学校に行けなかった時のオンライン授業が良かった。</p> <p>[2 生徒指導の徹底と健全育成に努める] ○挨拶については、前期と同様、児童の評価は高いが、教職員・保護者・地域住民の評価が低い。改善策である気持ちの良い挨拶ができていない児童を称賛していくことは、他の児童に良い影響を与えると考える。○引き続き頑張ってきた。○小規模校ならではの利点である子どもたちの姿を捉えられて良いと思う。○学校生活に不安や不審を感じている子や、学校が楽しくないという子どももいることが分かった。○子どもたちの間では挨拶をしているが、相手に気持ちよさがなく、子どもらしい元気がないのかと思った。○家庭でも子どもとの会話を通して、不安などないか聞いていきたい。○毎月の教育相談があるのが良い。先生と個別に話をすることはなかなかない。担任とは違う先生と相談することで話をしやすくなるかもしれない。そうやって、子どもたちとコミュニケーションを取ってもらってありがたい。</p> <p>[3 教職員の資質・能力と学校組織の活性化] ○近年、コロナ禍の中で行事や業務の見直しを余儀なくされ、それに感染防止という業務も付加され、教職員は大変な状況であると思うが、特定の教職員に負担がかかり過ぎないような環境づくりに努めており、今後も継続した取組を望む。○できる時期やできない時期があると思うので、年間バランスをとって行ってほしい。○小規模校ならではの悩みが見える。○行事などの活動が再開されるのはうれしいが、先生方の負担が増えるのは申し訳ない。○先生方は十分いろいろしてくださっているし、保護者にも気を使っていると思う。だから、あまり無理をしないようにしてほしい。</p> <p>[4 豊かな心を育てる教育の推進] ○思いやりの心と優しい心は他者から受けて育つとも言われるが、これからはwithコロナという考えの中で、地域の人・自然・文化との交流の場が広がることを期待するので、大きな部分が多いのではないかとと思う。○先生方がその場になくても、児童が地域と関わられる方法を探ってみてもよいのではないかと感じる。例として、消防団に参加してみる等。○一人一人を大切に、これからは引き続きお願いしたい。○コロナ禍では、地域の方たちと交流もできている方だと思う。○家車ならではの海洋学習は、良いことだと思う。○友達への感謝を伝えたりする場を設定するのは、とても良いと思う。○家車は児童数が少ないので、児童や保護者、地域とも距離が近いと思う。門松作りやクリスマス、学習発表会の荒獅子など、とても良かった。</p> <p>[5 健康教育の推進] ○「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣については、「食育教育」や「ピンツと週間」の実施により保護者の協力も得られ、高い肯定率につながっていることである。今後も継続した取組を望む。○「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣は、なかなか身に付かないと思う。家庭と連携し、少しずつ進んでいっていると思う。○保健だよりに「朝ごはん」項目があることで、子どもも意識して取り組むことができる(朝ごはん等)○「早寝・早起き・朝ごはん」は、朝の生活の割合にもよると思う。もちろん、子どもの夜更かしなどもあるかもしれないが、親の仕事の帰りが遅いと、こどもも遅くなる。朝も食べない家庭だと、子どもが食べるのも難しい。家庭によっては、なかなか大変だと思う。</p> <p>[6 安全・安心な学校づくりの推進] ○子どもたちの防災意識・防災スキルは大変高く、今後も維持していかなければならない。また、家車小学校を中心とした3地区合同の防災訓練を定期的に実施するなど、今後とも継続した取組をお願いしたい。○防災については、危機意識を持っていただいているので、とても良いと感じる。災害時に一人でも多くの子どもたちが助かるように、引き続き頑張ってきた。○今の子どもたちは、自分の命は自分で守ることが、よくできていると思う。防災への理解もよくなっている。○子どもたちの防災意識がしっかりとされているので、親の方がとても勉強になる。○訓練は、どれだけでもいい。実際に災害になった時にあてないよう、訓練通りにできるよう、避難の仕方もしっかり身に付けさせたい。</p>																																	